

令和7年度 第2回 川口市介護保険運営協議会議事録

1 開催日時

令和7年11月10日（月） 午後2時00分から午後3時05分まで

2 開催場所

市役所 第一本庁舎8階 第2委員会室

3 出席者（委員総数15名、出席委員13名）

【出席委員】 田口 孝行委員、陽野 載紀委員、柳田 つとむ委員、竹中 健智委員、金子 裕子委員、小川 由美委員、根本 光委員、高木 輝久委員、須佐 和行委員、野村 洋子委員、内田 洋子委員、長谷部 正子委員、熊木 明美委員

【欠席委員】 山本 明美委員、近藤 利雄委員

【事務局並びに関係職員】

福祉部長、長寿支援課長、介護保険課長

【事務局補助】

介護保険課職員、長寿支援課職員

4 議事及び次第

・ 開 会

・ 諮問書交付

・ 会長挨拶

・ 議 題

報告事項

（1）令和6年度地域包括支援センターの活動状況等について

（2）第9期介護保険事業計画期間中の給付実績について

審議事項

（1）第10期川口市高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定に係る調査について

（2）介護予防支援の指定について

・ その他

・ 閉 会

5 議事録署名人 根本 光委員、内田 洋子委員

6 傍聴人の数 0人

7 会議の概要

諮問書の交付、会長挨拶の後、事務局により本日の委員出席者数について報告が行われ、条例に基づき会長が議長となり議事が進行された。

会長の指名により、今回の議事録署名人は、根本 光委員・内田 洋子委員となっ

た。本日の議題のうち、審議事項（２）は非公開となった。事務局による各議事の説明の後、次の質疑応答がなされた。

【質疑応答の概要】

「報告事項」

（１）令和６年度地域包括支援センターの活動状況等について

報告事項資料１に基づき、事務局から説明が行われた。

議長 報告事項（１）については以上でよろしいか。

各委員 異議なし。

「報告事項」

（２）第９期介護保険事業計画期間中の給付実績について

報告事項資料２に基づき、事務局から説明が行われた。

委員 夜間対応型訪問介護については、よく利用されているとの印象であるが、地域密着型通所介護については、実績値において計画値からマイナス６％となっている。
この要因は、利用者数が減っているのか、利用回数が減っているのか、どのように受け止めているか。

事務局 地域密着型通所介護については、分母となる値が他と比べ小さく、少しの値の差がパーセンテージに影響を与えている。計画値は、第９期介護事業計画策定時、つまり令和５年度に設定したものであり、そこで計画時と差がでたものと思われる。

議長 報告事項（２）については以上でよろしいか。

各委員 異議なし。

「審議事項」

（１）第１０期川口市高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定に係る調査について

審議事項資料１に基づき、事務局から説明が行われた。

委員 事業者向けアンケート（４ページ・設問番号１０）について。
現場では利用者からの介護サービスの過剰要求があると承知している。これは利用者と事業者にギャップ、乖離が生じているとの認識である。以上のことから現場は苦慮している、そのような趣旨を追加してはどうか。

- 委員 事業者としても過度なサービス要求、ハラスメントに苦慮しているところ、今年8月に共通した周知啓発リーフレットがあるとありがたいと市にお願いした。市にて作成いただき、市公式ホームページ経由にて市内全事業所あて配布された。現場としては、非常に助かっている。
- 委員 介護従事者へのハラスメントの実態について現状をお伺いしたい。
- 委員 在宅でのサービス、訪問介護等において、ハラスメントは実際あると認識している。特別養護老人ホームにおいては、特別な理由があって入所いただいているため、暴言暴行といったハラスメントを理由に入居者の強制退去はなかなかできない。複数職員で対応したり、職員へのメンタルヘルス教育を取り入れたりなど対策しているところである。
また、心療内科に往診いただくなど、早めに症状を和らげるといった対策も有効であると考えている。その他、市役所とも相談しながら対応を模索中である。
- 議長 リーフレットの貼出し等を行っており、一定の効果を得ていると理解した。意見として承る。
- 委員 事業者向けアンケート（10ページ・設問番号25（3））について。
「サ高住（サービス付き高齢者向け住宅）」利用者数の設問があるが、現場レベルとして、本来サービスの選択ができるはずが入居の際にその施設サービス利用が入居条件としてしまっている事例があるなど問題がある、と聞き及んでいる。ケアマネが「サ高住」の話をした際、サービスの選択がしづらかったケースがあるか、を追加してはどうか。
- 議長 本意見、実際にある話で事例が少なければ対応しないというわけでない。アンケート項目に入れる、入れないにかかわらず対応していくべき案件である。意見として承る。
- 事務局 国においてもそのような事例があると認識しており、実態調査を行う予定があるとのこと。そのようなことがないように、対策を講じようとしている。
- 委員 アンケートについて高齢者の単身世帯は回答率がよくないと思われるため、送付先の配慮は必要であると思われる。
- 議長 意見として承る。
- 議長 それでは、当協議会としては、基本的に事務局案とし、今回出された意見の反映、微細な修正については、会長と事務局に一任とすることよろしいか。

各委員 異議なし。

議 長 それでは、審議事項（１）について、審議を終了する。

「審議事項」

（２）介護予防支援の指定について

審議事項資料２に基づき、事務局から説明が行われた。

議 長 それでは、介護予防支援の指定について承認としてよろしいか。

各委員 異議なし。

議 長 それでは、審議事項（２）について、審議を終了する。

「その他」

事務局 （介護未経験者マッチング機能強化モデル事業の進捗について報告）

【議事終了後】

事務局 次回の開催は年明け２月を予定しているが、改めてご連絡する。

（ 会議終了 午後３時０５分 ）